

**令和元年度
教育委員会の事務の点検・評価報告書
(平成 30 年度事業分)**

令和元年 9 月

始良市教育委員会

目 次

I	教育委員会点検・評価制度の概要等について・・・・・・・・・・	1
II	教育委員会事務局の点検・評価について・・・・・・・・・・	3
	教育委員会事務局	
	(1) 教育総務課・・・・・・・・・・	3
	(2) 学校教育課・・・・・・・・・・	4
	(3) 社会教育課・・・・・・・・・・	5
	(4) 図書館事務局・・・・・・・・・・	6
	(5) 保健体育課・・・・・・・・・・	7
III	教育委員の点検・評価・意見・要望等について・・・・・・・・	9
IV	外部評価委員の点検・評価・意見・要望等について・・・・・・・・	16
	【資料】	
	教育委員・外部評価委員名簿・・・・・・・・・・	29
	始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則・・・・・・・・	30
	始良市教育委員会外部評価委員会規程・・・・・・・・・・	31

I 教育委員会の点検・評価制度の概要等について

1 制度の概要について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の一部改正により、平成20年度からすべての教育委員会が、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を行い、その実施に当たっては、学識経験者の知見活用を図るものと規定された。

また、その結果については議会へ報告し、市民に対して公表することも規定されている。（以下「条文抜粋参照」）

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む)を含む)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 始良市教育委員会の点検・評価の実施方針について

始良市教育委員会において、平成30年度に実施した事務事業の内容について、始良市の教育(教育行政要覧)の各課重点施策を基本に、評価項目を69の項目に分類する。そして、事務事業自己点検・評価シートを作成し、教育委員会事務局内部で評価を実施した後、各教育委員の点検・評価を受け、その後、教育に関し学識経験を有する5名で組織する外部評価委員会を2回開催し、点検・評価実施後に、報告書を取りまとめる。

9月定例教育委員会での議決を経て、令和元年第3回定例会(9月議会)へ提出する。

また、報告書は令和元年10月以降に、始良市のホームページ等を活用して市民への公表を行うこととする。

3 評価点数結果及び各課の評価項目件数について

69 評価項目の合計評価点数は平均 4.4 点、始良市教育振興計画に基づく取組の着実な実施と、子育て基本条例に基づく社会全体の協働による子育て・人づくりのための具体的施策を展開した。

評価項目は、教育総務課 8 項目・学校教育課 12 項目・社会教育課 31 項目・図書館事務局 4 項目・保健体育課 14 項目で、合計 69 項目である。

4 評価点数について

評価点数は 5 段階評価とし、以下のとおりとする。

評価	評価の基準等	目標等達成の目安
5	目標を十分に達成し、期待以上の成果が得られた。	8 割 ～ 10 割
4	目標を概ね達成し、ほぼ期待どおりの成果が得られた。	6 割 ～ 8 割
3	目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた。	4 割 ～ 6 割
2	目標をあまり達成できず、成果が少なかった。	2 割 ～ 4 割
1	目標をほとんど達成できず、成果がなかった。	0 割 ～ 2 割

5 令和元年度の自己点検評価報告書作成スケジュール

日 程	内 容
7 月 10 日	定例教育委員会での外部評価委員委嘱の承認
7 月 24 日	第 1 回外部評価委員会の開催 (教育委員会自己点検評価結果報告及び外部評価の依頼)
7 月 25 日・8 月 6 日 8 月 13 日	外部評価委員から受領
8 月 22 日	第 2 回外部評価委員会の開催 (外部評価結果のまとめ及び自己点検報告書(案)の策定)
8 月 30 日	自己点検・評価報告書の作成
9 月 13 日	定例教育委員会に点検・評価結果報告書の議案提出
9 月中旬	市議会第 3 回定例会へ点検・評価結果報告書の提出
10 月	市民への公表(市ホームページに掲載)

Ⅱ 教育委員会事務局の点検・評価について

1 教育総務課

『教育委員会の活性化の推進』については、定例会開催日の固定化が定着し概ね委員全員の出席がなされ、臨時会は時宜を逸しないよう努めた。そして、3日前までに資料配付を行うことにより事前検討を促し、あわせて詳細な補足資料により理解を深めることで活発な質問や意見につながっている。

条例・規則等は事前に規則等審査委員会を実施することで、現状に合わせた見直しに努め、制定・改廃等34件の審議を行った。あわせて定例会後に教育行政の個々の課題等について研修を行った。

また、県・地区主催の研修会や市独自の研修への参加により、委員の見識を深める機会となっている。特に県外研修においては、郷土教育の重要性をあらためて認識し取り組みを学ぶことができた。

『適正な人事管理業務の推進』については、職員の適正な人事管理及び資質向上を目指し、様々な研修会への参加を促すとともに、年度当初に教育委員会の職員研修、夏季に学校司書・用務員研修を行い、資質向上、服務規律の確保に努めた。

また市の人事評価制度にあわせて、面談等を行い個々の業務管理や健康状態の把握に努めるとともに、職員の健康管理については、職員の健康に対する意識高揚のために、積極的な健康診断の受診を促した。

『適正な財務事務の推進』及び『良好な教育環境整備の推進』については、事務職員研修会の中で、財務会計システム操作や財務会計処理の手順等を日頃の現場からの質問や誤り等を考慮し、独自の説明資料等を作成、現場にあった指導をすることで、適正な予算執行に努めた。

学校予算については、児童数の増加等、必要性の高まりに応じた予算の確保に努める必要がある。

なお、市内小・中学校の校舎、体育館については、老朽化が進んでいることから、学校からの修繕要望が増える傾向にあり、限られた予算の中で長寿命化策も踏まえて改修に努めたい。また、本年度は全幼稚園、小・中学校に空調機を設置するための設計業務を行った。

外部評価委員の8項目評価点は平均4.8点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 職員研修は、市役所全体の研修のほか、年度当初の教育委員会の研修及び、夏季に学校司書および用務員研修を行った。各種健康診断は446名が受診した。
- (2) 学校事務共同実施連絡会議やブロック事務職員研修会を通じて、財務会計処理、備品管理システムの実務研修を行い、財務事務の円滑な執行に努めた。
- (3) 施設等の整備は、帖佐小学校屋外トイレ新築工事、重富中学校屋外トイレ新築工事等を行った。その他、緊急性を考慮しながら、幼稚園35件、小学校314件、中学校143件の修繕を行い、安心安全な学校施設維持に努めた。

また、幼稚園、小・中学校に空調機を設置するための設計を行った。

2 学校教育課

学校教育課では、30年度に『規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進』『能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進』『児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり』の三つを重点施策に掲げ、その充実に努めた。

『規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進』については、学校、家庭、地域が協同して児童生徒の道徳性をはぐくむ事業の展開を図った。また、各小・中学校の生徒指導上の課題、特に不登校の問題については、学校の指導が機能するよう相談活動、家庭環境の改善のための人的配置、ネットワークづくり等を行い、児童生徒の学校・家庭生活の改善につながる事例も見られるようになった。

『能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進』については、学力向上に関する各種の事業の成果として、諸学力検査結果が多くの教科等で全国平均・県平均を上回った。26年度からの取り組みとして、中山教育基金を利用した「スーパーサイエンス総合推進事業」においては、児童生徒の科学に対する興味関心を高める事業を展開・実施することができた。また、特別支援教育の充実に努める中で、適切な就学相談、授業での児童生徒支援の在り方を話し合う協議会の実施ができた。さらに、キャリア教育の推進についても協議会を開催し、その充実に努めることができた。

『児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくりの推進』については、管理職等の研修会や校長面談を通し、学校経営についての改善充実に努めることができた。

また、小規模校・複式教育についても研修会を行い指導法の充実に努めた。

外部評価委員の12項目評価点は平均4.5点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 「モラリティ・インクルーブメント推進事業」で、松原なぎさ小学校、重富中学校が実践発表を行い、保護者や地域の方々が多く参加する中で、学校・家庭・地域の三者協働による道徳教育の推進について理解が深まった。同様の趣旨で、小・中・高等学校生のスピーチ・コンテストを含む市民向けの行事「ハートフルアイランド」を開催した。さらに、地域ではぐくむ道徳教育の一助として、棕鳩十文学を活用した始良市道徳教育教材集「生きるってすばらしい」の活用を図るための活用事例集を作成するとともに、「始良市みんなのカレンダー」を小学校全家庭に配布し、好評価を得た。
- (2) 「スクール・カウンセラー配置事業」や「スクール・ソーシャル・ワーカー実践研究事業」等の活用により、不登校等の問題に対して学校と家庭・関係機関との連携が密にとられ、ケース会議等を通じ組織的な対応をするなどの細かな対応が充実してきた。保護者に対する相談活動や学校になじめない生徒のための一時的な居場所づくりも進み、多面的な支援が充実してきている。また、「スクランブルカウンセリング事業」においては事件・事故に対応して、児童生徒や保護者に緊急のカウンセリングを効果的に実施することができた。
- (3) 教職員向けの各種研修会では、「教職員の指導力を向上させることで学力向上を図る」という基本的な考えに基づき、多様な研修会を実施できた。研修の成果として、児童生徒の学力については、一定の成果が出ている。
- (4) 「スーパーサイエンス総合推進事業」では、リーダー養成等を意図した講座の展開

や東京科学施設の視察、科学への興味・関心を高めるイベントである「サイエンスあいらんど」を開催し、観察実験及び講演を通して、市内の児童生徒の科学的な見方・考え方を育てることができた。

- (5) 特別支援教育の充実として、特別な支援の必要のある児童生徒のいる小・中学校に特別支援教育支援員52名を配置し、研修会を開催することにより、適切な介助や学習支援等を行うことができた。また、市特別支援連携協議会により、各関係機関と連携を図り特別支援教育の充実が図れた。
- (6) 校長研修会では、教職員の資質向上や、地域とともにある学校づくりをテーマに、教頭研修会では、授業指導力の向上をテーマに実施し、学校の課題解決への取り組みや学校経営の充実に生かすことができた。

3 社会教育課

「あいら未来特使団」「A I R Aふるさと学寮」「A I R Aふるさとチャレンジャー」等の青少年育成事業により、普段の生活では体験できない多様で価値ある体験活動をととして、青少年の自主性や協調性、社会性を培う機会を提供することができた。

家庭教育の推進については、ラジオ番組の制作や家庭教育フェスティバルの開催、子育て手帳の活用啓発等、家庭教育力の向上に努め、地域全体で家庭教育を支援するための体制づくりを進めた。

また、成人教育では、女性学級(あやめ学級)や高齢者学級(ゆずり葉学級)を開催し、現代的な課題を考慮して趣向を凝らした講座を実施した。

社会教育施設や公民館施設においては、自主講座・生涯学習講座の内容充実が図られるなど、良好かつ幅広く事業を推進できた。

生涯学習フェアにおいては、生涯学習講座の学習成果発表や市主催による生涯学習事業の紹介、基調講演を実施し、多くの市民に学びの機会を提供できた。

芸術文化活動の振興では、児童生徒に芸術を鑑賞できる機会を設けるとともに、始良10号美術展の開催や芸術文化団体の育成に努めた。

また、郷土愛の醸成や地域活性化を図るため、郷土芸能の後継者育成に努めるとともに、各郷土芸術保存会への支援・連携を図った。

埋蔵文化財の保存については、各種開発行為に伴う確認調査や始良市島津家墓所調査報告書の作成に向けた確認調査を行った。出土品の整理は、適切な管理に努め、外部からの資料照会や閲覧に対応した。

外部評価委員の31項目評価点は平均4.4点

□各事業の主な成果と課題

- (1) 関係団体の指導者に社会教育リーダー研修会への積極的な参加を促し、スキルアップや資質向上が図られた。今後は、人材育成に努めるとともに、リーダーの活用が図られる機会の設定や地域の活性化につながる取り組みに努めたい。
- (2) 「あいら未来特使団」「A I R Aふるさと学寮」「A I R Aふるさとチャレンジャー」など青少年育成事業が充実し、個々の資質向上やリーダー育成につなげることができた。また、女性学級(あやめ学級)や高齢者学級(ゆずり葉学級)もそれぞれテーマ

を持って開設しており、初期の成果を上げることができた。

- (3) スクール・サポート・ボランティア・コーディネーター（SSVC）事業においては、全小学校区にサブコーディネーターを、全中学校区にコーディネーターと家庭教育サポーターを配置して、学校・保護者のサポートを行うことができた。今後も、学校や地域と連携・協働して事業の充実を図りたい。
- (4) 社会教育施設（棕鳩十文学記念館、北山野外研修センター、スターランドAIRA、蒲生ふるさと交流館、龍門陶芸・健康の里）や公民館施設（始良公民館、蒲生公民館、地区・校区公民館）では、施設・設備の維持保全に努めながら、施設の特色を生かした事業や講座を開設し、充実した施設の運営が図られた。今後も利用者に対して、環境整備とともに職員の接遇を充実させ、きめ細やかなサービスに努めたい。
- (5) 児童生徒に対する芸術鑑賞内容の充実を図ることや、芸術文化団体の育成、市文化芸術祭や始良10号美術展の開催の広報に取り組み、今後さらに芸術文化活動の振興・充実に努める。
- (6) 文化財の保護と活用については、蒲生のクス保護増殖事業、島津家墓地の国指定史跡化に向けた実測・測量業務等を実施した。また、学校では出前講座や史跡めぐりの実施、歴史民俗資料館や加治木郷土館では企画展や歴史講座を実施するなど、活用に努めた。郷土芸能の保存・育成では、郷土芸能保存団体17団体に補助金を交付し、後継者育成と保存活動支援を実施した。

4 図書館事務局

『図書館のサービス業務と読書活動の充実』については、平成30年4月から中央図書館・加治木図書館で祝日開館を実施して、図書館の利用促進を図った。

読書活動の推進では、こどもの読書週間に合わせた事業である「ものがたりレシピをいただきます」を継続して、小・中学生が読書に関心をよせる機会を提供した。今後も関係機関との連携を図り、充実に努めたい。

『始良市立図書館ネットワークの充実』については、県視聴覚ライブラリーとの連携により資料確保に努めた。また、県立図書館、県内の公立図書館及び大学図書館等のインターネットによる蔵書検索を行い、貸出の充実や公立図書館相互貸借の推進を図った。

外部評価委員の4項目評価点は平均4.3点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 図書館利用の促進では、中央図書館・加治木図書館について、祝日開館を実施して、開館日数の拡充を行い、毎年減少傾向にあった入館者数を増加することができた。しかし、貸出人数・貸出冊数ともに減少していることから、幅広いサービスを提供することで、図書館の利用促進に努めていきたい。
- (2) 図書館システムの有効活用では、7年間使用していた図書館システムの更新により、利用者へのサービス向上、事務の効率化、より安全な運用管理を実現することができた。今後も、図書館システムの安定稼働、セキュリティの維持・向上を図りながら、ホームページ等のWebサービスとあわせて、利用者サービスの向上に努めていきたい。

5 保健体育課

『生涯スポーツの推進』については、市スポーツ推進委員の活動の充実を図るとともに、体育協会やレクリエーション協会と連携し、市民の健康増進や仲間づくりを目的とした各種のスポーツ・レクリエーション大会を実施した。

『競技スポーツの推進』については、体育協会等の団体に補助金を交付し、組織の強化と競技力の向上を図るとともに、全国大会等へ出場する個人や団体に対しては、奨励金を交付し活動の支援を行った。

『体力・運動能力の向上』については、体育主任研修会等を開催し授業力の向上と学校間の連携を図りながら、運動好きな子どもの育成と体力向上を図る授業の推進や、教科外体育の取り組みとして、全ての小・中学校で、体力・運動能力調査や「体力アップ！チャレンジかごしま」を実施した。

また、体育連携推進事業として、バスケットボールの講習会を開催し、指導力と競技力の向上を図った。

『健康教育の充実』については、学校保健安全法に基づき、児童生徒及び教職員の健診や、就学児健診を実施し、疾病対策に取り組んだ。また、児童生徒の安全対策については、「登下校防犯プラン」による合同点検を実施し、関係機関と情報共有を図り、課題解決に向けて取り組んだ。

『食育の推進』については、栄養教諭や調理員に対する研修会を開催し、スキルアップを図ると共に、調理場においては備品等の計画的な整備を行い、安心して安全な給食の提供を図った。

また、「社会的課題に対応するための学校給食の活用事業」において、「食品ロスの削減」と「地産地消の推進」のそれぞれのテーマについて研究を行い、食育の推進と地場産物の活用を実践することができた。

『かごしま国体・かごしま大会の開催に向けた準備』では、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会始良市実行委員会」に基づく組織体制が確立され、各種基本計画や実施要項を策定した。また、先催県における運営状況や各種施設の視察、関係者との情報交換等を行い開催に向けた準備を進めた。

外部評価委員の14項目評価点は平均4.3点

□各事業の主な成果と課題

- (1) 2020年の「かごしま国体・かごしま大会」の開催は、多くの市民が様々なスポーツ・レクリエーションに参画するための機会であるため、その指導的役割を有するスポーツ推進委員をはじめ、関係団体に対しても取り組みの強化を促したい。
- (2) 全ての小・中学校で新体力テストを実施し、その結果を学校ごとに分析し、体力向上の対策を検討した。体力合計点は小・中学校ともに昨年度より向上しており、これまでの取り組みの成果が見られる。
- (3) 「体育連携推進事業」では、本市で開催される国体の気運醸成と競技力向上のため、九州管内の大学3校から招聘したバスケットボール指導者と部員による指導法の講習会及び小・中・高校生を対象とした実技指導を実施し、200名を超える参

加者に対し研修の機会を提供するとともに国体の周知を図った。

- (4) 児童生徒の登下校時の安全が社会的な問題となったため、学校をはじめ関係機関と通学路合同点検を実施した。今後もスクールガード・リーダーや通学路安全アドバイザーの配置を継続し、始良っ子見守り隊の協力も得ながら安全体制の充実を図りたい。
- (5) 「社会的課題に対応するための学校給食の活用事業」では、食材の有効利用のための研究や、始良市産はだか麦の学校給食への活用のための取り組みを通して、食品ロスに関する児童生徒への問題提起や、生産者との連携が図られた。
- (6) 「かごしま国体・かごしま大会」については、大会の運営をはじめ競技の観戦等、多くの市民の参画が必要であることから、様々な機会を捉えて情報を発信し機運の醸成に努めたい。

Ⅲ 教育委員の点検・評価・意見・要望等について

教育総務課関係

1. 教育委員会の活性化の推進

- ① 定例会・臨時会ともに適切に行われている。
- ② 定例会と臨時会は適切な時期に実施されている。(同コメント2件)
- ③ 事務局担当より議案等について丁寧な説明がなされ、質問や意見もあり、十分に審議されている。(同コメント3件)
- ④ 資料は3日前まで配布され、事前に検討することができた。(同コメント2件)
- ⑤ 資料は会の数日前には手渡された。また当日には、補充資料が配付されることもあり、内容も理解しやすかった。
- ⑥ 今後も定例会後の課題説明や施設研修の機会をつくってほしい。
- ⑦ 県外研修では、山口県の歴史と史跡見学もあり、各教育委員会での研修とともに、とても充実した内容であった。(同コメント2件)
- ⑧ 市主催の研修では先進地の情報を得るとともに、本市の実態や情報をあらためて見つめ直す良い機会となっている。
- ⑨ 教育委員としての資質向上のため、研修会に参加し見識を深める事は大切な事である。積極的に参加したい。
- ⑩ 地区や県の研修会に参加させていただき、教育委員の職務がさらに理解できた。
- ⑪ 研修会には、毎回積極的に参加している。学校訪問では各学校の取り組みや、職員・子どもたちの様子を知ることができた。
- ⑫ 学校訪問を行うことにより、各校の現状と課題が見えてくる。今後も積極的に参加したい。
- ⑬ 学校訪問で幼稚園、小・中学校を実際に見ることにより実態が把握できる。

2. 適正な人事管理業務の推進

- ① 職員の資質向上に向けた取り組みがよくなされていた。健康管理、健康チェックがなされている。
- ② 職員の資質向上のための各種研修が計画的に良くなされている。
- ③ 職員の健康管理に留意し、積極的な健康診断受診につなげてほしい。

3. 適正な財務事務の推進

- ① 学校事務職員の研修も実施され、適正な予算執行が図られている。

4. 良好な教育環境整備の推進

- ① 各学校の老朽化が進んでいるが、学校からの要望を受け、限られた予算の中、計画的に整備・改修されている。(同コメント2件)
- ② ほとんどの学校が老朽化しており今後も計画的な整備計画の執行が必要である。
- ③ 空調設置は、児童生徒や教職員の体調を考慮すると適切である。
- ④ 幼稚園、小・中学校の空調設置については、熱中症対策や学習効率化の大きな一歩となり効果が期待される。

学校教育課関係

1. 規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

- ① 実践推進校の実践発表や学校、地域、家庭の三者協働による道德教育はとてもよい取り組みだった。今後も必要であり期待するところである。(同コメント2件)
- ② モラリティ・インクルーブメント事業は、校区を挙げての取り組みである。これからも積極的に進めていただきたい。
- ③ 不登校についての本市の取り組みは、様々な事業を行うことで成果が上がってきていると思う。未然防止にも取り組んでほしい。(同コメント2件)
- ④ 児童生徒の抱える課題や家庭環境の改善に向け、スクール・カウンセラー、ソーシャル・ワーカーの配置事業は、これからも大きく期待がかかるところである。
- ⑤ 悩みのある子どもたちや保護者に寄り添った支援は、今後さらに必要であると思われる。
- ⑥ 小・中合同音楽会は市内の全校が参加しており、児童生徒、教職員、保護者それぞれが良い刺激を受けているのではと思う。これからも続けてほしい。
- ⑦ 人権教育や体験活動、小・中合同音楽会は心身の成長や社会性の学びの場になると思う。今後も続けてほしい。
- ⑧ 学校訪問の際、全ての学校で人権同和教育に関する研修を実施していることが分かった。
- ⑨ 幼・保・小の連携は、研修会等で図られている。今後も継続し交流を深め、さらに充実させてほしい。(同コメント3件)

2. 能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進

- ① 中学校ブロックごとの共通実践事項の取り組みは、小学校から中学校へのスムーズな移行に欠かせないことなので、今後も続けてほしい。
- ② 学力向上について、委員会と学校がともに連携をとる取り組みはすばらしい。
- ③ 小・中連携の取り組みとして、各中学校をブロックとした共通実践事項が小学校の学校経営グラウンドデザインの中に示されており、継続的な取り組みを行った結果が成果として現れてきていることは大きく評価できる。これからも連携を大切にしてほしい。
- ④ 各学校では、小・中9年間を見通した学習への取り組みを行っている。全体的には良い状況にあるので、これからも継続してほしい。
- ⑤ サイエンスリーダー養成講座へ参加した生徒による報告会を楽しみにしている。子どもたちの生き生きとした姿がみられる魅力ある事業を今後も続けてほしい。
- ⑥ 理数、外国語をそれぞれの分野で適切な研修を行っており、さらに「サイエンスあいらんど」では、子どもから大人まで興味を沸き立たせる内容になっており毎年好評のようである。今後も是非続けてほしい。
- ⑦ 小学校では、児童が生き生きと英語の授業に参加している様子を見ることができた。担任とAEAが協力している。
- ⑧ 昨年よりも多い支援員の配置に、配慮の必要な子どもたちが増加していることがうかがえる。今後もより一層の支援員と担任との連携をお願いしたい。また、学

校全体での取り組みもお願いしたい。

- ⑨ 特別な支援を必要とする幼児、児童生徒が増える中、教職員、支援員のスキルアップのための研修会も非常に大切であると感じる。これからも保護者を含め三者が密に連携をとりながらより良い支援を行っていただきたい。
- ⑩ 特別支援教育への対応は、年々充実してきている。今後はまわりの子どもや大人たちの理解を深める必要がある。
- ⑪ 中学校の職場体験学習ではとても良い経験ができていると思う。ご協力いただいている事業者の方々に感謝している。
- ⑫ キャリア教育に賛同し協力して下さる事業所が増える事は大変ありがたい事である。職場見学や職場体験をする中で将来に期待をもってもらいたい。
- ⑬ 中学校が職場体験学習をしている姿を多く見かけるようになった。受け入れ先が増えているからである。地域や事業所の理解がさらに深まってほしい。

3. 児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくりの推進

- ① 自分の住む地域のことを知る貴重な場である。大切にしてほしい。
- ② 学校訪問で、どの学校も体験活動や郷土教育を取り入れていることが分かった。
- ③ 各校すばらしいグランドデザインができており、目指す学校像が良く分かる。取り組みに期待したい。
- ④ 校長がそれぞれグランドデザインを作成しており、学校経営計画がわかりやすい。また、各校の特色が具体的に見えやすい。
- ⑤ 学校訪問を行うことにより、各学校の現状と課題が見えてくる。直接現場の声を聞き、また姿を見ることによって、現状に即した的確な指導等ができている。
- ⑥ 学校訪問は各学校が特色をアピールするとともに、教育活動を見直す機会となっている。教育委員会は学校の実態を把握するとともに、直接、指導助言する場となっている。
- ⑦ 特認校制度をもっと周知し、行事等に親子で参加できる機会を増やし、学校の良さや特色等を伝えてほしい。
- ⑧ 小規模校ならではの良さをアピールし、各校の入学者が増えることを期待する。
- ⑨ 小規模校では特色ある教育活動をしているとともに、学習面でも成果を上げている。

社会教育課関係

＜社会教育関係＞

1. 社会教育の基盤づくり

- ① 委員からの意見が子育て手帳の活用等で生かされており「共に」の歩みがうかがえる。
- ② 各種研修会に全職員が参加できたことは評価できる。
- ③ 各団体と良い関係を保ちながら、市活性化のために頑張ってください。
- ④ ホームページの更新は時期を逸さず、丁寧な広報活動をお願いする。

2. 青少年教育の充実

- ① 小・中・高生たちがチャレンジできる事業がたくさん企画されており評価できる。今後も続けてほしい。
- ② 数多くの青少年育成事業を行っており、またそれぞれに参加者も多く評価できる。今後も続けていただきたい。
- ③ いろんな事業を企画、実施し成果を上げている。
- ④ 単位子ども会の加入率増のための手立てを考える必要がある。
- ⑤ 子ども会は活発に活動している。参加率を高めていることが大切である。
- ⑥ 子ども会加入率の減少が少々気にかかる。(前年46%→41%)
- ⑦ 市内中・高校生25人で団体ができている事を大きく評価する。活動の広報方法を考えていただきたい。

3. 家庭教育・成人教育の充実

- ① 各幼稚園、小・中学校において主観的に家庭教育学級が開催されている。
- ② あいらびゅーFMでの家庭教育番組の放送、子育て手帳の配布により、家庭教育の重要性を市民に大いに広報できた。
- ③ あやめ学級・ゆずり葉学級は高齢者の方々の大切な「語り場」である。今後も続けていただきたい。
- ④ 人権に関する学習をこれからも定期的に継続していただきたい。繰り返し学習も大切である。
- ⑤ 人権教育の場と機会をさらに広げる必要がある。

4. 社会教育施設の充実と利用促進

- ① 北山野外研修センターほか各施設で特色ある活動をされており、参加人数も多い。
- ② 棕鳩十文学記念館は、通常開館時の利用増対策が急務である。

<生涯学習関係>

1. 生涯学習の推進

- ① 市生涯学習フェアでは、渡部陽一氏の講演に多くの市民が来場されていた。

2. 芸術文化活動の振興

- ① 子どもたちが間近で芸術に触れることのできる貴重な機会である。これからも続けてほしい。
- ② 子どもの時に芸術に触れることは、とても良いことである。
- ③ 少年少女合唱団の活躍の場が広げられることを願う。
- ④ それぞれの地区で多くの市民が、見る側も含め楽しみに生き生きと参加している。続けていただきたい。
- ⑤ 各支部の文化祭、市芸術祭ともに充実している。

3. 公民館施設の充実

- ① 各施設の老朽化が否めないが、それぞれの地区に必要な施設であるので、早め早めの補修をお願いしたい。

- ② 計画的に整備が進んでいる。

4. 公民館事業の充実

- ① たくさんの講座が開設されており、多くの市民が参加されている。
- ② 多くの講座が開設され、市民の学習意欲を支えている。
- ③ 各公民館によって利用数に違いがあるが、市民にとって大切な地区の施設である。

<文化財関係>

1. 指定文化財登録文化財の保存・活用

- ① 文化財保護審議会を開催し、各種話し合いや研修会等に参加している。
- ② これからも文化財の保存と、魅力ある活用に努めていきたい。
- ③ 始良市文化財ガイドブックはとてもわかりやすく、カラーでとても見やすかった。周知広報に十分役立つと思う。
- ④ 文化財ガイドブックは観光客だけではなく、市民にとっても始良市の豊かな文化財をアピールするものとなった。

2. 埋蔵文化財の保存・活用 3. 郷土芸能の保存・育成

- ① 毎年の太鼓踊りを楽しみにしていられる方が多い。
- ② 踊り子の後継者不足が心配である。

4. 施設の充実

- ① 学校の授業等での利用が増加したことは、喜ばしいことであり評価できる。
- ② 年2回運営協議会を開催し、展示や収蔵状況について協議されている。
- ③ 特別展をすることにより、展示場に足を運ぶ機会が増えた。

図書館事務局関係

1. 図書館のサービス業務と読書活動の充実

- ① 祝日開館により来館者増となり、実施してよかった。また、図書館講演会では多彩な方々の講演がとてもよかった。
- ② 平成30年度から中央図書館と加治木図書館で、全ての祝日の開館が実施され、入館者数の増加につながったことは評価する。
- ③ 祝日開館により、市民へのサービスは大きく向上した。
- ④ 今後も貸出人数、貸出冊数の増に期待する。
- ⑤ いろいろな子ども読書活動が計画されており、楽しみにしている親子も多いと思う。「おはなし会」については毎年参加者が減少しているので、広報に一工夫してほしい。
- ⑥ いろんなボランティアの方が活動され、感謝している。
- ⑦ 機材と教材貸出の広報を積極的に行ってほしい。

2. 始良市図書館ネットワークの充実

- ① 図書館システムの便利機能の周知を図ってほしい。

保健体育課関係

＜スポーツ振興関係＞

1. 生涯スポーツの推進

- ① 市レクリエーション協会交流会とニューエルダー元気塾、それぞれ参加が増えている。周知活動を積極的に行い、市民の体力づくり仲間づくりのためにさらなる参加者の増加につなげていただきたい。
- ② 市民の健康づくりのためにも、スポーツ愛好者の裾野を広げてほしい。
- ③ スポーツ推進委員として各大会の運営等に積極的に参加し、自身の資質向上を図っていることは評価できる。

2. 競技スポーツの推進

- ① 市体育協会等への適切な補助金の交付を図っている。
- ② 県外より高校・大学の野球部の合宿があり、地域活性化につながっている。
- ③ かがしま国体・かがしま大会に向けて準備中である。各競技スポーツがさらに向上し、活躍することを期待している。

＜学校体育保健関係＞

1. 体力・運動能力の向上

- ① 学校訪問でも説明を受けている。課題をどのように克服していくか各学校で努力している。評価したい。
- ② 学校訪問の際に各校新体力テストの結果の説明がなされている。課題となる種目については、各校において改善策を講じている。
- ③ 各記録会ではすばらしい記録が出ている。その一方で運動をすることを好まない児童生徒もいるようだ。運動好きな子どもの育成にこれからも工夫していく必要がある。
- ④ チャレンジかがしまへの取り組みは、とてもすばらしいと思う。
- ⑤ 「体力アップ！チャレンジかがしま」への取り組みは、学校訪問でも各校の説明に入っており、子どもたちの積極的な取り組み状況をうかがうことができた。2校の2年連続学校賞はすばらしい。

2. 健康教育の充実

- ① 多種多様なアレルギー疾患がある中、見逃さず、手引き等を参考にしながら的確な対応をとっていただきたい。
- ② 児童生徒の健康診断や就学時健診は適切に行われている。
- ③ 「始良っ子見守り隊」の方々には、子どもたちの登下校の見守りにご協力いただき深く感謝している。(同コメント3件)
- ④ 「始良っ子見守り隊」と学校との連携がさらに深まり、安心安全な登下校ができる事を願う。(同コメント2件)

＜学校給食関係＞

1. 食育の推進

- ① 身体の成長の要である「食育」については、栄養教諭と担任さらに保護者とも連携をとりながら推進していく事が望ましい。
- ② 学校給食の衛生基準は厳しいものがある。そのためにも調理員のスキルアップは大切である。
- ③ 食物アレルギーについて、各学校で統一した取り組みがなされていてよかった。
- ④ 栄養バランスのとれた献立である。学校給食は子どもたちにとっても一日の中の大切な一食にあたる。除去食等、考慮すべき項目がたくさんあるとは思いますが、おいしい給食をこれからもよろしくお願いします。
- ⑤ 徹底した衛生管理と調理従事者の健康管理に努めていただきたい。

＜国体推進関係＞

1. かがしま国体・かがしま大会の開催に向けた準備

- ① かがしま国体開催まで一年余りとなり、より具体さが増してきているであろう4つの専門委員会にて計画的に、そして的確に進めていただきたい。
- ② 先進地視察で得た情報を十二分に生かしてほしい。
- ③ 会場の基準は厳しいものがあり、それをクリアするための予算化がなされた。的確な準備をお願いしたい。
- ④ ポロシャツとネックストラップの着用で一体感がうまれ、とてもよい。
- ⑤ 国体への気運を高めるための、普及啓発活動の効果を期待する。
- ⑥ 市が作成した広報物は、いたるところで目にすることができた。

IV 外部評価委員の点検・評価・意見・要望等について

教育総務課関係

(1. 教育委員会の活性化の推進)

- ① 定例会及び臨時会については適切な時期に設定、運営され議題に取り組まれている。(同コメント4件)
- ② 活発に委員の意見・質疑があり、しっかりと審議されたうえで議決されている。(同コメント2件)
- ③ 3日前までに資料が配布されることで事前検討がなされ、説明に必要な補充資料の配付も行われている。(同コメント2件)
- ④ 会議における十分な論議のための事前準備、取り組みがよくなされている。(同コメント2件)
- ⑤ 県外研修視察については、研修目的を明確にして、これからも充実したものにしてほしい。
- ⑥ 県外研修や県・地区主催の研修会、市独自の研修に積極的に参加し、教育委員の資質向上や始良市の課題解決のため学ぶ機会が図られている。学んだことを周知し改善が図られることを願う。
- ⑦ 行政評価の結果や県・市町村教育委員会研修等を通じて本市の小・中学校の課題を的確に捉えたうえで、その課題解消のために先進地を選定し研修成果をフィードバックする流れの中で、教育の質の向上、発展がなされることと考える。引き続きその流れを大切にしていきたい。(同コメント3件)
- ⑧ 学校訪問や各種行事に積極的に委員が参加され、意見交換や質疑を行い、各学校の取り組みや現状と課題をしっかりと把握し指摘することが、学校全体の意識改革へとつながっていることがうかがえる。

(2. 適正な人事管理業務の推進)

- ① 教員だけでなく、市職の司書や用務員の研修も実施されているのは意義があると思う。ぜひ続けてほしい。
- ② 各種研修が年間を通じ、計画的に実施され職員の資質向上が期待される。(同コメント2件)
- ③ 職員の健康管理、ストレスチェック等しっかり実施されている。
- ④ 教育において「ヒト」の力は最も基本となるものであり、さらにその基本は心身の健康にあると考える。これからは基本を大切にしながら、各人の資質・能力の向上を図っていただきたい。

(3. 適正な財務事務の推進)

- ① 学校備品の管理・利用状況を把握し、有効活用がなされるように指導してほしい。
- ② 年4回の学校事務職員研修会が実施され、適正な予算執行が行われている。(同

コメント2件)

- ③ 財務事務については、規模の異なる学校間で予算の適正化に苦慮されていると思う。引き続き、必要な場所に必要な予算が配分できるようお願いしたい。

(4. 良好な教育環境整備の推進)

- ① 地震による壁の倒壊により小学生が亡くなったのを受け、学校の石門の修理がすぐなされた。対応の早さに感謝したい。
- ② 学校訪問時にも学校からの要望を確認し、修繕や整備等の対応がしっかりと進められている。
- ③ 施設整備については、規模の異なる学校間で予算の適正化に苦慮されていると思う。引き続き、必要な場所に必要な予算が配分できるようお願いしたい。
- ④ 多くの学校の老朽化が進んでいるため、災害等が起きる前に早急な対策を検討していただきたい。
- ⑤ 幼稚園、小・中学校の空調設置が期待されるが設置後の維持管理に努めてほしい。
- ⑥ 予算措置は厳しいと思いますが、普通教室等への空調設備設置を計画的に進めていただきたい。

学校教育課関係

(1. 規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進)

- ① 蒲生小の子どもたちの心温まる日記が月1回校区に回覧される。是非これからも続けてほしい。
- ② 棕鳩十文学を利用した道徳教育教材集「生きるってすばらしい」や小学校の道徳の副読本等を地域の公民館に置くことはできないだろうか。子どものいない家庭では目にすることができない。
- ③ モラリティ・インクルーブメント推進事業の取り組みは、学校、地域、家庭の三者による協働を通して子どもたちの道徳性をはぐくみ、たくさんの市民が参加し意見交換を行い、子どもたちの現状を知ってもらう良い機会になっていると思う。今後も続けてほしい。(同コメント2件)
- ④ 「ハートフルあいランド」で実施されている、ことばのいずみコンクールでの小・中・高生の発表がすばらしく、今後も継続されることを願う。
- ⑤ 地域に根ざした素材を十分に生かして、人間形成の基盤となる資質等の涵養がみられる。今後も引き続き発達段階に応じた指導が期待される。
- ⑥ 教科「道徳」の評価について、各学校の取り組みや、特に保護者や子どもの反応等について可能な範囲で実態把握をお願いしたい。
- ⑦ 家庭的問題や生徒が抱える問題、不登校、いじめ等で悩んでいる生徒、保護者にとって相談できるスクール・カウンセラーやソーシャル・ワーカーの存在は、とても大きいので配置の継続を強く願う。

- ⑧ 誰にも相談することなく一人で悩んでいる子どもたちはきっといるはずであり、少しでもその子どもたちの心の支えとなるよう、子どもを取り囲む全員が意識して働きかけることが大切だと思う。これらの事業をさらに充実させていただきたい。
- ⑨ 悩みのある子どもたちをもつ保護者への支援があることを知らない保護者も多い。広く周知する方法を検討していただきたい。
- ⑩ 生徒指導は、生徒支援から始まるのだと思う。
- ⑪ 不登校児童生徒のための居場所として、適応指導教室（２ヶ所）の設置があるが学校と情報を共有し支援を続けてほしい。
- ⑫ 不登校児童生徒で適応教室に通った４６人中１７人が、学校に復帰できたことはすばらしく、関係者の努力の成果である。不登校児童生徒減へのさらなる取り組みをお願いしたい。（同コメント２件）
- ⑬ 夏休み明けに不登校者が増える傾向にあると聞く。休校中の支援にも力を入れてほしい。
- ⑭ 各種コンクールでの受賞を学校だよりで知り、子どもたちの頑張りをうれしく思う。さらなる子どもたちの個性伸張に向けコンクール参加を続けてほしい。
- ⑮ 小・中合同音楽発表会は、各学校で工夫をこらした発表があり、発表する態度、聞く姿勢、お互いを思いやり協力と協調性を学ぶ場であり、なにより音楽を楽しむ体験できる良い機会となっているので今後も続けてほしい。
- ⑯ 集団宿泊学習、各種コンクール、小・中合同音楽会が、計画的に実施されており、児童生徒の社会性の育成や達成感を体験するすばらしい取り組みである。
- ⑰ 他人の立場に寄り添い、その立場に立ったものの見方、考え方ができることは、将来にわたる人権感覚の育成につながる。早い時期からそのような指導をしていただいており、今後も充実した取り組みをお願いしたい。
- ⑱ 保育園の待機児童問題はないのだろうか。
- ⑲ 幼・保・小連携、研修会をしっかりと実施していることで、小学校への円滑な接続が図られていると思う。今後も続けてほしい。（同コメント２件）
- ⑳ 幼児教育については、早期からの教育の重要性が叫ばれており、研修等を通じた取り組みがよくなされている。

（２．能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進）

- ① 県平均を上回る確かな学力は、中学校ブロックでの共通の取り組みの成果だと思う。また「教員の資質向上のための指導力向上セミナー」等、研修の機会を多く設定してほしい。
- ② 小規模校から中学校へ進学した子どもにとっては、中学校での授業中がうるさいという感想を聞くが実際はどうなのだろうか。管理職等の学級授業参観を通して静かな教育環境にも努めてほしい。
- ③ 小・中合同の研修会の実施により情報支援等も活発に行われ、共通実践事項の取

り組みも職員間で理解が図られていると思う。

- ④ 研究指定校として各学校が積極的に関わり、研究公開を頑張っていることがうかがえる。
- ⑤ 小・中が連携してそれぞれの実践を捉えた学力向上の取り組みがなされている。今後は、高校まで連携した新しい取り組みの共有化を図り、地域が子どもを育てていく気風を作っていくことも大切である。
- ⑥ 全国学力学習状況調査、県学習定着度調査が小・中学校とも全教科全国、県平均を上回っている。教育委員会主催の各種研修会や、各学校での校内研修等へのすばらしい取り組みの結果であると思う。
- ⑦ 学力は確実に向上しているようである。あわせて毎年、安定した学力維持ができるよう取り組んでいただきたい。
- ⑧ グローバルな人間の育成にとっては、実践的な英語の修得は欠かせない。英語で続けられる生き生きとした授業をこれからも行ってほしい。
- ⑨ サイエンスあいらんどでは、親子で興味を持ち参加している姿が数多く見受けられ、20ブースの教職員による楽しい実験は好評である。
- ⑩ 市として独自の理数・外国語教育の充実に努められていることに敬意を表したい。今後とも取り組みを充実させていただきたい。
- ⑪ 理数定着支援員3名を小学校5校に配置し、理数の学力定着を図る取り組みがなされている。継続してほしい。(同コメント2件)
- ⑫ 理数、サイエンスリーダー等事業の取り組みは高い評価ができる。
- ⑬ 個に応じた授業を受ける特別支援学級にいる子どもの成長は目を見張るものがある。しかし普通学級の子どもの中でも支援が必要と思われる子どもがいる。そのような個への支援のあり方も考慮して行ってほしい。
- ⑭ 年々支援を要する児童生徒が増えているが、それに合わせて必要な支援員の配置をしていただいている。とてもありがたい。
- ⑮ 支援を要する児童生徒の実態把握は個々で違うので、教職員、支援員のスキルアップのための研修会を実施し横の連携を図り、共通理解の元で対応して行ってほしい。(保護者との関わりをもって)
- ⑯ 特別な支援を行うことで、それぞれの児童生徒の持つ能力をしっかりと発揮できるような環境づくりが進められており敬意を表したい。
- ⑰ 特別支援教育については、コーディネーターや担任、指導員等それぞれの立場でのスキル向上も大切であるが、個人にとどまらず組織としてのノウハウの蓄積が大切であると考えます。
- ⑱ 市内小・中学校に52名の支援員が配置され、担任との連携による児童生徒の安全確保や学習支援等が効果的に行われている。
- ⑲ 特別支援を必要とする子どもたちは、今後さらに増えることが予想される。これからも学校と保護者と連携しながら続けていただきたい。
- ⑳ 職場で体験することは、将来どのような職に就くか考える貴重な経験となる。小

学校から積極的に行っていただきたい。

- ②① 早期からのキャリア教育により、将来の生き方につながる事が大切であると思う。その意味で発達段階に応じて「働くことの意味」について考える機会が増えれば良いと思う。
- ②② 「あいらキャリアサポートバンク」に多くの事業所の協力を得て、小・中学生が職場体験や職場見学を実施できることに感謝している。そして体験したことを学校内で仲間と共有できるような発表の場をつくってもらえたらと思う。
- ②③ 始良市の事業所数は限られていると思いますが「あいらキャリアサポートバンク」登録事業所のさらなる発掘をお願いしたい。

(3. 児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり)

- ① 西浦校区では、学校と地域が一体となった運動会、夏祭り、稲作り、十五夜等、高校生まで参加する取り組みがある。郷土に愛着をもつ大人に成長するようこれからも続けていきたい。
- ② 地域の良さを生かした学びで、郷土愛が育まれていると思う。
- ③ ふるさとに誇りを持ち、そこで育った先人たちに学ぶことは非常に重要なことである。あらゆる観点（歴史、自然、文化財等）から、今の自分と結ぶ学びができればよいのではないか。
- ④ グランドデザインでの重点項目を地域への周知に努めてほしい。
- ⑤ 学校経営の基本となるグランドデザインが計画され、それを基にわかりやすく学校経営の充実が図られている。
- ⑥ それぞれの学校の特色を生かし、保護者や地域に信頼される学校づくりを目指していることが良くわかる。今後も各学校相互の情報交換をさらに密にして、よりよい学校経営に努めていただきたい。
- ⑦ 学校評議員会・学校関係者評価委員会の参加を通じて、学校の経営方針や具体的な取り組みを把握することができた。
- ⑧ 学校評価委員の評価も生かされたグランドデザインができています。
- ⑨ 「百聞は一見にしかず」年1回の教育委員会の学校訪問は、学校に勤めているものだけでは気付かないことを知る上でも大変意義あるものである。（たまには抜き打ち訪問も良いのでは）
- ⑩ 毎年学校訪問が実施され改善すべき課題や学校の現状を把握し、指導助言が行われている。
- ⑪ 管理職研修や教職員研修を通じてそれぞれの学校や児童生徒の課題を解決するための資質向上が図られ、意見交換の場となっている。（同コメント2件）
- ⑫ 小学校時代から近くの小学校との交流を行っているので、中学校生活をスムーズにスタートできている。
- ⑬ 特認校制度に向け、西浦校区を市内のより多くの人に知ってもらうため、校区行事を昨年から大きくしている。まずは校区を宣伝して、特認校制度に向けた学校

の取り組みに協力していきたい。

- ⑭ 小規模校において、特色ある教育活動を一人一人大切に指導していることは、すばらしいと感じる。
- ⑮ 小規模校の良さをアピールし、特認校制度で学びたい児童を増やす工夫ができれば良いと思う。
- ⑯ 小規模校における教育の特色をしっかりとPRし理解していただくと同時に、上級学校への進学時に大集団の中でもしっかりと対応できるための配慮を引き続きお願いしたい。

社会教育課関係

＜社会教育関係＞

(1. 社会教育の基盤づくり)

- ① 社会教育委員からの研究テーマに基づき、家庭教育の現状と課題について多くの提言があったことがうかがえる。
- ② 社会教育委員がそれぞれの立場から活発な意見交換等をされており、全国での発表にも生かされている。
- ③ 社会教育の各種研修会等に、全職員が出席できたことはすばらしい。
- ④ 研修を通じた社会教育関係職員の資質向上がよく図られている。
- ⑤ 社会教育の指導者研修会に、各団体から105人が参加したことは評価できる。
- ⑥ 各種、各年代における社会教育リーダーの育成が良く図られている。
- ⑦ 社会教育関係団体はたくさんあるので連携を図ることが難しいと思いますが、手立てを考え連携が円滑に図られるよう努めてほしい。
- ⑧ 社会教育の各関係団体の状況等に応じ、それぞれ適切な関わりを持っている。
- ⑨ 広報あいらの内容は充実している。
- ⑩ 広報活動においてホームページは教育委員会と市民をつなぐ重要なツールである。身近に知ることのできる情報を生かせるよう充実に努めてほしい。(同コメント2件)
- ⑪ 各団体の活性化のためにも、それぞれの活動をホームページに紹介する事はできないか。

(2. 青少年教育の充実)

- ① 色々な青少年のための事業が生まれ、充実した内容で行われている。
- ② 小・中・高生がチャレンジできる事業があり、たくさんの人が参加し体験を通して頼もしく成長していることがうかがえる。今後も大変だと思うが継続してほしい。
- ③ 次世代を担う若い人材育成が様々な事業を通じて図られており、今後の成長が楽しみである。

- ④ 子ども会活動は、子ども主体ではなく、大人が引っ張っている状態である。
- ⑤ 子ども会の加入率の減少がみられる。増加を図る手立てと啓発が早急な課題である。(同コメント3件)
- ⑥ 保護者の考え方も多様化し、子ども会への参加に理解が得られない場面もあると思われるが、地域での子ども会の存在意義をさらに知っていただく努力を継続してほしい。
- ⑦ ジュニア・リーダークラブどんぐりの活動をできるだけ多くの市民に知ってもらい、参加したい人が増えることを期待する。
- ⑧ ジュニア・リーダーとしての活動がやがて地域や社会の活力につながることから、さらに充実したものとなるよう努めてほしい。中・高生の参加で得られた成果は各学校にも還元されていると考える。

(3. 家庭教育・成人教育の充実)

- ① 以前は学校職員主導であったが、係の保護者を中心に充実した家庭教育学級が行われている。
- ② 家庭教育学級での学びを通して保護者間の交流を図るよい機会となっているので、楽しく活動できるよう支援してほしい。
- ③ 県の委託事業を通じ、地域全体で家庭教育を支え、推進していく取り組みがなされており評価できる。今後、継続的な取り組みとなるよう努めてほしい。
- ④ 子育て手帳の活用については、依然として課題である。
- ⑤ 人権教育はこれからも必要なことなので、家庭教育学級や女性学級を継続してほしい。
- ⑥ 人権教育の重要性をさらに多くの場で周知していただければありがたい。よりよい社会づくりの基盤である。

(4. 社会教育施設の充実と利用促進)

- ① 北山野外研修センターは、年間利用者も多く有効活用されていると思う。
- ② 北山野外研修センターは、子ども会等の具体的活用事例等広く紹介し、シーズンにかかわらず活動の場となることを望む。
- ③ スターランドA I R Aは、遠足や親子ふれあいで利用も進めていきたい。
- ④ イベントに出展しスターランドA I R AのPR活動を実施し、昨年と変わらない入館者数なのは評価できる。
- ⑤ スターランドA I R Aは市が誇るすばらしい施設であり、さらに多くの人が気軽に利用できるよう広報等に力を入れていただければありがたい。
- ⑥ 棕鳩十文学記念館はずっと以前に一回だけ行ったことがあるが、二回目はなかなか足が向かない。とてもいい記念館なのだが。
- ⑦ 棕鳩十文学記念館は広報活動と何か手立てを考え利用者が増えることを願う。
- ⑧ この地にゆかりの深い棕鳩十の作品だけでなく、その功績についても各学校で紹介

介し、記念館を訪れたくなる雰囲気づくりに努めてほしい。

- ⑨ 蒲生ふるさと交流館では、学びのカモコレの各講座が地域の方々の協力のもと多く開催されていることは評価できる。
- ⑩ 蒲生ふるさと交流館は、ホームページ等を活用し、さらなるPR等に努めてほしい。
- ⑪ 陶夢ランドでは昨年より利用者が増えていることは良いが、老朽化により利用者に不便がないよう、早めに修繕をお願いしたい。
- ⑫ 陶夢ランドは、ホームページ等を活用し、さらなるPR等に努めてほしい。

<生涯学習関係>

(1. 生涯学習の推進)

- ① 生涯学習フェアの講師選定が良かった。
- ② 生涯学習フェアの講演会を楽しみにしている市民も多い、準備等、大変かと思うが魅力的な内容を期待する。
- ③ 生涯学習フェアには多くの方が参加されており、今後も市民が望む内容等の工夫をしていただきたい。

(2. 芸術文化活動の振興)

- ① 各学校順番ではあるが、青少年劇場やオーケストラ、しゃみせんによる公演等、芸術に触れる貴重な体験は素晴らしいと思う。
- ② 芸術のすばらしさに直接ふれる機会を提供していただき、子どもたちのみならず多くの方々に潤いを与えている。
- ③ 市民がたくさん参加しているので、市文化協会のサポートは継続してほしい。
- ④ 文化をはぐくむ個々の育成は、草の根的な地道な活動が不可欠であり、それらにつながる取り組みをさらに継続していただきたい。

(3. 公民館施設の充実)

- ① 始良公民館も整備された、他の施設も計画的に整備に努めてほしい。
- ② 公民館周辺の草刈りも定期的に行われ利用しやすい。
- ③ 利用者のことを考えて、随時、改善、維持が行われている。
- ④ 公民館施設環境の充実は、予算面との兼ね合いもあり難しい面もあると思われる。メリハリのきいた対応が望まれる。

(4. 公民館事業の充実)

- ① 今後も円滑な地区館運営がなされることを願う。
- ② 地域に根ざした公民館となるよう、さらに取り組みを継続していただきたい。
- ③ 公民館指導員研修会は、利用する市民のために継続してください。
- ④ 先進的な取り組みや好事例等を参考に、よりよい公民館運営につながるようお願い

いしたい。

- ⑤ 月一回の校区コミュニティ協議会のサロンは、高齢化が進み参加者が減少しつつある。
- ⑥ 生涯学習講座は受講者数も増えているので、支援を今後も継続してください。
- ⑦ 生涯学習講座は利用者の声をしっかり反映させ、次年度への取り組みに生かしていただきたい。
- ⑧ 公民館施設は、利用者も少し増え市民になくてはならない学び場所なので、細やかなサービスを図ってほしい。
- ⑨ 多くの方々がそれぞれの公民館を利用されており、さらに利便性の良い場となるよう努めていただきたい。

＜文化財関係＞

（1. 指定文化財の保存・活用）

- ① 文化財保護審議会の開催や研修会等も実施され、しっかり対応されていることは評価できる。
- ② 先人が大切に守り伝えてきた文化財の意義を、さらに広く多くの方々に伝える努力を継続していただきたい。
- ③ 観光等への活用等より深く知っていただくことが、文化財の保護にもつながることだと思っている。
- ④ 市報あいらの歴史の道を毎月興味深く読んでいる。継続してほしい。
- ⑤ ガイドブックやパンフレットを利用して、市民または観光客に文化財の魅力が広まることを願う。広報にも期待したい。
- ⑥ 文化財ガイドブックは文化財を広く知ってもらい、そして実際に見てもらうためにも大きな意義がある。今後も継続してほしい。

（2. 埋蔵文化財の保存・活用）

- ① 埋蔵文化財の保存活用に地道な取り組みを継続しておられ敬意を表したい。

（3. 郷土芸能の保存・育成）

- ① 郷土芸能の保存のため、後継者育成と保存会活動への支援は必須だと思う。
- ② 先人から引き継がれた郷土芸能のすばらしさを、後世に伝えていく取り組みをさらにお願いしたい。
- ③ 今後、郷土芸能の保存のためには、後継者の発掘育成が早急な課題である。

（4. 施設の充実）

- ① 歴史民俗資料館において、展示や収蔵状況を協議し、展示方法を工夫したり学校の授業等で利用したりと改革したことは評価できる。
- ② 歴民館、郷土館等各施設において、企画や講座等が工夫され来館者に満足してい

ただいているのではないかと思う。

- ③ 加治木郷土館に寄贈資料をいただけたことはとてもありがたい。また、あいらビュー号での情報発信も評価できる。

図書館事務局関係

(1. 図書館のサービス業務と読書活動の充実)

- ① 祝日の開館実施により来館者が増えたことは評価できる。
- ② 祝日開館等、利用者の立場に立った取り組みがよくなされている。今後さらに図書館の楽しみ方等、広報に努めていただきたい。
- ③ 「あいあい号」を利用している校区民もいる。ぜひ続けてほしい。
- ④ 読書活動について子どもたち市民のために、ボランティアに協力していただいている方々の存在は大きい。とてもありがたいことである。
- ⑤ ボランティア活動や移動図書館等、より身近なものとなるような取り組みが行われている。
- ⑥ 視聴覚ライブラリーの利用に関する事例紹介等、広報を継続してほしい。(同コメント2件)

(2. 始良市図書館ネットワークの充実)

- ① 図書館システムについて、今後も情報発信を続けてほしい。
- ② 図書館ネットワークの充実で、身近で利用しやすい図書館となっていると思われる。利便性等の積極的なPRをお願いしたい。

保健体育課関係

(1. 生涯スポーツの推進)

- ① 生涯スポーツにおいて、参加者が増えている大会やイベントもある。今後も周知活動を続け、たくさんの人の交流と体力づくりに努めてほしい。
- ② 生涯スポーツの推進は、健康増進や老後の健全な生活等に密接に関わっており、今後もしっかり取り組んでほしい。
- ③ 各種競技団体との連携が図られ、参加者が増加傾向にあることは、市民の健康づくり、地域の活性化につながり喜ばしいことである。各種大会以外では「市民が、いつでも、どこでも、一人でも取り組めるスポーツ」の推進（実態把握）も図っていただきたい。例えば「ウォーキング、縄跳び、ストレッチ」等。
- ④ スポーツ推進委員の役割等の広報を行ってほしい。
- ⑤ スポーツ推進委員として各種研修会や各大会の運営等に積極的に参加し、資質向上が図られていることは評価できる。(同コメント2件)
- ⑥ スポーツ推進委員の資質向上が地域スポーツの推進に欠かすことができないこ

とから、今後も取り組みを頑張ってもらいたい。

(2. 競技スポーツの推進)

- ① かがしま国体に向けて着実に準備が進んでいるが、開催に向けてさらなる支援等が必要とのこと。しっかり取り組んでももらいたい。
- ② 各協会等への補助金や全国大会出場奨励金交付は、組織の強化競技力向上につながっている。さらなる予算獲得に努めていただきたい。

(3. 体力・運動能力の向上)

- ① スポーツ少年団に参加している子どもと、そうでない子どもとのギャップが大きい。スポーツ少年団の子どもは土日も練習に励んでいる。そうでない子の体力づくりは学校体育のみである。体育の授業の充実に努めてほしい。
- ② 学校での体力向上の取り組みや、水泳記録会、陸上記録会に向けた練習を、積極的に取り組んでいることがとても評価できる。
- ③ 子どもたちが外で遊ぶ機会が少なくなっている状態の中で、学校における体育・運動指導の重要性は高まっている。その中で様々な取り組みにより、体力等の強化が図られていることは高く評価できる。
- ④ 新体力テストの結果が小・中学校とも県平均を上回り、昨年度より向上している。市教委作成の「体力リーフレット」を参考に学校ごとの課題を明確にするとともに、教科体育等で継続的に体力作りに取り組んでいる結果であると思われる。
- ⑤ クラス全員で目標に向けて努力することは、学級経営にもいい影響がある。チャレンジかがしま、ぜひ続けてほしい。
- ⑥ 「体力アップ！チャレンジかがしま」の取り組みは、始良市内の全ての小・中学校で実施されており、各学校でベスト10に入れるよう頑張っているところは評価できる。
- ⑦ 学校や学級単位で目標を持たせ共に協力して行う取り組みは、個人のモチベーションを高めるとともによりよい人間関係づくりにも大きく貢献していると思う。
- ⑧ 「体力アップ！チャレンジかがしま」は、各学校で積極的に取り組まれており運動好きな児童生徒の育成につながっている。
- ⑨ 体育連携推進事業として、外部講師・選手を招聘しての小・中・高校生との指導者を対象にした研修会、講演会に、保護者55名の参加があり家庭との連携も図られている。

(4. 健康教育の充実)

- ① 食事後の運動による、アレルギー発症を耳にするようになった。アレルギーについては、個々の把握に努めてほしい。
- ② アレルギー患者の対応は、「学校におけるアレルギー対応の手引き：改訂版」に基づき、今後も該当児童生徒に応じた的確な取り組みを推進していただきたい。

- ③ 健康診断や就学児健診がしっかり実施され、疾病等が見つかった子どもの早期治療へとつながっていると思われる。治療の有無の確認もしっかりと行ってほしい。
- ④ 常に最新の情報に留意しつつ、子どもたちの安心安全を守る取り組みを継続していただきたい。
- ⑤ 子どもが犠牲になる事件、事故が多い。「自分の身を自分で守る」指導も重視してほしい。
- ⑥ 地域全体で子どもたちを守り育てることが具体的に見える場であり、関係者に感謝と敬意を表したい。
- ⑦ 登下校時の「始良っ子見守り隊」による声掛けや横断歩道での誘導等の活動で、始良市全体の子どもの安全が図られていることに心から感謝したい。（同コメント2件）
- ⑧ 常に不測の事態への備えを行い、様々な想定を日頃からしておくことが大きな事故等を防ぐ力になると思われる。
- ⑨ 「地震発生時のブロック塀の危険性」については、今後も避難訓練等の中で具体的な指導が行われるよう各学校との連携を図っていただきたい。
- ⑩ 安全な通学路確保のため、また各学校、各PTAにおいて安全確保に対する自助努力を促進するため、安全点検の結果は対象校区には開示していただきたい。

(5. 食育の推進)

- ① 給食献立の内容を学校で放送しているのを耳にする。栄養教諭の献立資料を活用してほしい。
- ② 食の安全、食育の充実を図るためにも、調理員のスキルアップ研修は必要と感じる。
- ③ 食育推進校の指定、栄養教諭による食に関する指導、地場産物の活用等を通した食育の推進を今後も続けていただきたい。
- ④ 学校給食の充実のためには、全員の給食費納入は必要である。未納者対策をしっかり行ってほしい。
- ⑤ 給食費未納に対する取り組み、学校窓口での対策にはもう手詰まり感がある。そろそろ行政としての対策を作っていくべきではないだろうか。
- ⑥ 学校給食については、栄養面、衛生面、アレルギー対応等大変気を遣うと思うが、子どもたちのために安心安全な給食を提供するよう心がけてほしい。
- ⑦ 食の安心安全への取り組みは大変に気を遣うことだと思われる。関係者の努力に敬意を表するとともにさらに細かな取り組みに務めていただきたい。
- ⑧ 月1回の市統一献立検討会で、アレルギー対応や地場産物を活用した栄養バランスのとれた献立が作成されている。
- ⑨ 暑い時期の調理従事者の健康管理が心配になりますが、水分補給を忘れずしっかり取り組んでもらいたいです。
- ⑩ 学校給食衛生管理基準に適合しない施設では、調理員の努力によって安心安全な

給食が提供されている。衛生管理基準をクリアするための計画的な施設設備の改修を図っていただきたい。

(6. かがしま国体・かがしま大会の開催に向けた準備)

- ① かがしま国体は準備が大変だと思うが、進行状況等を広報誌でも周知してほしい。
- ② かがしま国体が無事に開催され円滑に実施されるよう、4つの専門委員会においてしっかりと対応できることを願っている。(同コメント2件)
- ③ 4つの専門委員会で連携を密に図りながら、具体的な活動の進捗状況の確認を的確に行っていただきたい。
- ④ いよいよ1年後になった大会に向け関係者が協力しながら取り組むことが重要であると思う。あらゆることを想定し、早め早めの対応や連絡連携が欠かせない。
- ⑤ 福井国体、茨城でのリハーサル大会の視察で得たことを生かしてもらえたらと思う。
- ⑥ 先進地の本番前から本番終了後までの取り組み状況を参考に諸準備作業に取り組んでいる。
- ⑦ 競技場の整備に向けて大変かと思うが、適切に経費を執行してもらいたい。
- ⑧ 体育館の空調整備をはじめとした会場設備の予算獲得は厳しい状況にあると思いますが、限られた予算の中での的確な諸準備をお願いしたい。
- ⑨ 花いっぱい運動での国体への協力を、コミュニティ協議会として行いたい。
- ⑩ 花いっぱい運動の協力校区の少なさが、どういう意味なのか早急に検証し、対策をとるべき。
- ⑪ 国体に関するものを目にしたとき着実に準備が進んでいると感じる。またボランティアスタッフの確保のためにも広報や啓発活動は続けてほしい。
- ⑫ 市職員のポロシャツとネクストラップ着用は、国体気運を盛り上げる素晴らしい取り組みである。
- ⑬ 国体の駅前看板設置を始良駅前にもお願いしたい。
- ⑭ 盛り上がりにかけているように感じる。
- ⑮ 市民総ぐるみの取り組みになっているのか？

始良市教育委員会外部評価委員

番号	氏 名	役 職 等	備 考
1	川 原 裕 明	加治木高等学校長	学校教育
2	麓 吉 雄	学校評議員(元中学校長)	社会体育
3	永 田 葉 子	西浦校区コミュニティ協議会 支援員 (元小学校長)	教育委員会が必要と認める者
4	百 武 美津代	元始良市教育委員	社会教育
5	馬 場 修 二	市PTA連絡協議会会長	PTA連絡協議会代表者

始良市教育委員

番号	氏 名	役 職 等	備 考
1	川 畑 逸 郎	教 育 長 職 務 代 理 者	
2	岩 元 真 美	教 育 委 員	
3	中 間 博 英	教 育 委 員	
4	藤 谷 和 泉	教 育 委 員	

始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則

平成22年 3 月23日教育委員会規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第27条の規定に基づき、教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象及び時期)

第 2 条 点検及び評価の対象は、法第23条各号に掲げる事務及び教育施策上の重要課題とする。

2 点検及び評価は、毎年度、前年度の前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第 3 条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に規定する事務局をいう。）は、前条第 1 項に規定する事項について、必要な資料を整理する。

(教育に関し学識経験を有する者の知見の活用)

第 4 条 法第27条第 2 項の規定に基づき、点検及び評価を行うに当たり教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、始良市教育委員会外部評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置するものとし、必要な事項は、別に定める。

(議会報告等)

第 5 条 始良市教育委員会は、評価委員会からの答申を踏まえ、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、始良市議会に提出するとともに、これを公表するものとする。

(庶務)

第 6 条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第 7 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年 3 月23日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱（平成21年加治木町教育委員会要綱第 1 号）又は教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則（平成21年始良町教育委員会規則第 1 号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則の相当規定によりなされたものとみなす。

始良市教育委員会外部評価委員会規程

平成22年 3 月23日教育委員会訓令第 4 号

(設置)

第 1 条 始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則（平成22年始良市教育委員会規則第 5 号）第 4 条の規定に基づき、始良市教育委員会外部評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 評価委員会は、始良市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議し、その結果を答申するものとする。

- (1) 教育委員会の事務の点検結果の評価に関すること。
- (2) 教育委員会の委員の活動状況点検結果の評価に関すること。
- (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第 3 条 評価委員会は、5 人以内の評価委員をもって組織する。

2 評価委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育、社会教育及び社会体育に知見を有する者
- (2) 芸術文化関係に知見を有する者
- (3) P T A連絡協議会代表者
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

(任期)

第 4 条 評価委員の任期は、委嘱日から当該委嘱日の属する年度末までとし、補欠評価委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長)

第 5 条 評価委員会は、会長 1 人を置き、評価委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、評価委員会を代表する。

(会議)

第 6 条 評価委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、評価委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席評価委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第 7 条 評価委員会の庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第 8 条 この訓令に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この訓令は、平成22年 3 月23日から施行する。